
矛盾 Paradox

飯田 昏緑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

矛盾 Paradox

【Nコード】

N9660L

【作者名】

飯田 昏 緑

【あらすじ】

時空を超えるーそれは神の領域。人は決して足を踏み入れてはならない。

アンドウのタイムマシン。彼はそれで何をするのか??

「これが僕の研究の成果さ。」

アンドウはアパートの自分の部屋に恋人を招待していた。

ただでさえ狭い部屋なのに、そこにコードでつながった巨大な機械があつた。機械中央にはいすが一台、これもコードにつながっている。唯一開放感のあるのは大きく開いた窓だつた。

「これは何？」

恋人は進みにくそうに部屋の奥に入っていくが、二度ほどコードでつまづいた。彼女はアンドウに向かつて言った。

「大学を中退して、こんなのを造つてたの？」

あきれ顔の恋人をみて、制作者 アンドウは説明を始めた。

「そう言わないでくれよ。これはタイムマシーンなんだ。まずこっちのiMacから身長？体重？行き先を入力するんだ。そしてこのいすに座つてボタンを押す。

そうすれば…そう、別の時間だ。」

アンドウはそこまで言つて、恋人が冷蔵庫の中をあさっていることに気がついた。そういえば最近研究に没頭しすぎてあまり食事をとっていなかったことを思い出す。

「ちよつと…ほとんど賞味期限切れじゃない。」

恋人はため息をついた。アンドウは早くこの状況をどうにかしなければならなと思った。

「待つてて、コンビニ行つて買つてくる。」

微笑んで、アンドウは近所のコンビニエンスストアへと向かつた。

アンドーナッツと飲み物をかごの中に入れて、客 アンドウはレジに並んでいた。おでんに目がとまり、彼は店員に値段を聞いた。しかしアルバイトで稼いだ彼の金では足りなかった。

「じゃあ、おでん結構です。」

そう言った時突然店内の電気が消えた。どうやら地区が全体的に停電してしまったようだ。店員が自分で計算できなくなり電卓をだす。使えないレジ担当だ、アンドウは思った。

結局、アンドーナッツと飲み物だけを買って持参したマイバッグにこれ、アンドウは自宅へと帰った。

家の前についたときには電気もすっかり戻っていた。

「ただいま。買ってきたよ。」

アンドウは部屋に入った。

……

沈黙

アンドウはおかしいと思い、機械のある奥へと進んだ。そこにはヘルメットをかぶった男が一人立っていて、足元で留守番をしていた恋人が血を流して倒れていた。

「お前は誰だ。」

アンドウはヘルメット男に迫った。不法侵入だ、殺人犯だ。様々な言葉をならびたてた。

「事故だったんだ……」

ヘルメット男は言った。だがアンドウは容赦しなかった。男の胸ぐらをつかみ、風を送っていた窓から突き落とした。悲鳴が聞こえ、止んだ。

ふと、アンドウは我にかえた。どうにかしなければ。彼は焦った。そこに、死んでしまった恋人と、時間を超える機械のことを思い出した。

「そうだ……僕が彼女を助けるんだ……」

早速iMacを起動させ、停電の影響を調べ（異常のないことを確認し）タイムマシーンと接続した。身長と体重はもとも設定してあった。

「大丈夫。死なせはしない。」

アンドウはバイク用のヘルメットをかぶり、行き先の時間を入力

してスイッチを入れた。機械はものすごい音を発しながら動き始めた。

アンドウは、消えた。

ドドド…

ものすごい音とともにヘルメットをかぶった一人のタイムトラベラーがさほど広くもない部屋に現れた。まるで空間にぽっかりと穴が開いたようだ。部屋中の、いや、町中の電気が消えた。

「キヤアッ」

反動で近くにいた女性が吹っ飛び、壁に頭を強く打ち付けた。一気に血があふれる。

「アンドウ…くん…」

彼女は力つきた。

「嘘だ…嘘だ…嘘だーっ！」

ヘルメットから響く大声。彼はすべてを悟った。

「僕が…か、彼女を…殺した…」

部屋の電気が戻った。もう何も言うことができなかった。扉が開いた音を聞いたときには彼は生きる価値さえも忘れていた。

タイムパラドックス。彼を破滅させたのは彼自身…

（後書き）

展開が早いかもしれません。

そこは気にしないでください。

アンドウがどうなったかわかりますよね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9660/>

矛盾 Paradox

2010年10月28日03時07分発行